

【付録2】

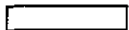
後期高齢者医療

広域連合電算処理システム 関係導入作業スケジュール（モデル）について

1. 関係導入作業スケジュールの取り扱い

本スケジュールは、広域連合電算処理システムの導入時期において現時点で想定される各関係団体で実施するイベント、作業などの標準モデル（目安）を示したものである。実際のスケジュールについては、各広域連合及び市区町村にて計画し実施していただくことになるが、特に各項目の完了時期を考慮して記載しているので、計画策定の際に参考にさせていただきたい。なお、本スケジュールは、標準システムで行なう機能のみを示すものではない（市区町村の独自システム等で実施する作業も含む）ので、ご注意ください。

スケジュールは概ね以下の観点で設定している。

- | | |
|---|---|
|  | : 実施が必須となるもの、または、ほぼ実施すると見込まれるもの
(一定期間を要するもの) |
|  | : 各団体の判断で実施要否を検討するもの。またはスケジュールを
前倒し着手（または後ろ倒しで継続）することが予測されるもの。
(一定期間を要するもの) |
|  | : 単独イベント、または作業（完了する想定時期を示しており、
リハーサルなどの期間が必要なものもあり） |

また、前工程が完了してから次の工程が行なわれる主なイベント等については、関連を示す矢印を記載している。（イベントの番号についても、スケジュール上関連性が高いものは連番となるようにしている。また、それぞれのイベント項目の概要については、用語補足説明を付けているので参考にさせていただきたい。）

2. 大規模ユーザ等における考慮

導入作業スケジュール（例）は、標準的な広域連合を想定し記載しているが、特に大規模な広域連合などや配布される標準システムそのものの運用テストを実施する先行ユーザ（別途選定を行なう予定）の場合は、環境構築を1～2ヶ月スケジュールを前倒しして実施することなども含め、制度施行までの計画を検討していただきたい。